

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 041	提案機関名 農業技術センター畜産技術所普及指導課
要望問題名 農場HACCP方式に基づいた畜産物生産の有用性の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 本県では、消費者への安全・安心な畜産物の供給のため、神奈川県農場HACCP認証制度を実施している。また、本県の畜産経営においては、畜産物の品質と安全性の一層の向上のため、国や神奈川県が行っている農場HACCP制度の認証を受けた農場や認証を目指す農場が散見される。 一方他県では、農場HACCP認証に基づいた牛乳生産の有用性について研究を行っており、HACCP導入により生産性も向上すると報告している。 そこで、畜産技術所でも農場HACCP方式を導入し、生肉生産や採卵等の生産性が向上するか検証し、取り組みにより得られたノウハウを農場HACCP導入志向農場に普及するためのモデル構築を含めた検討をお願いする。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	当所では現在、農場HACCPシステム構築に向けた準備を進めているところです。農場HACCPの本来の目的は人間に対する危害防止ですが、農場HACCPシステムを導入する過程において、通常実施している飼養衛生管理を見直し、改善することにより結果的に家畜の事故率低下や、乳質の改善等につながる可能性は考えられます。しかしながら、本課題につきましてはHACCPシステムの構築、導入、定着、効果の発現までにある程度の時間を要するため、平成26年度から本課題を研究テーマとして取り組むことは困難と思われます。このため、当所における農場HACCP導入とその効果についての検証は、システムの運営がある程度軌道に乗って以降にある程度の成果が蓄積されてから、生産性向上効果に関して導入前後の成績を比較検証することで取り組んでいきたいと思っております。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			